

平成 22 年度 普及に移す農業技術(第 1 回)

[分類] 普及技術

[成果名] セルリーのアブラムシ類防除にダントツ粒剤、モスピラン粒剤が有効である

[要約] セルリーのアブラムシ類防除に 1 株に対してダントツ粒剤 2 g またはモスピラン粒剤 0.5 g を定植時に植穴土壌混和する。

[担当] 野菜花き試験場環境部

[部会] 病虫部会

1 背景・ねらい

アブラムシ類はセルリーの初期生育を阻害する重要害虫である。定植時の土壌処理により長期残効性が期待できる薬剤を選定するとともに、セルリーに対する薬害の有無を検討する。試験は平成 17～20 年に実施し、ダントツ粒剤が平成 22 年 1 月に、モスピラン粒剤が平成 22 年 3 月に農薬登録されたため、今回普及技術とした。

2 成果の内容・特徴

(1) セルリーのアブラムシ類防除に 1 株に対してダントツ粒剤 2 g またはモスピラン粒剤 0.5 g を定植時に植穴土壌混和する。

農薬登録内容

ダントツ粒剤

[一般名および成分含有量] クロチアニジン 0.5%

[毒性] 人畜毒性：普通物

[魚毒性] A 類

[対象作物に対する適用登録状況(平成 22 年 10 月 8 日 JPP-NET 確認)]

作物名	適用害虫名	使用量	使用時期	使用回数	使用方法	クロチアニジンを含む農薬の総使用回数
セルリー	アブラムシ類	2 g / 株	定植時	1 回	植穴処理 土壌混和	1 回

モスピラン粒剤

[一般名および成分含有量] アセタミプリド 2.0%

[毒性] 人畜毒性：普通物

[魚毒性] A 類

[対象作物に対する適用登録状況(平成 22 年 10 月 8 日 JPP-NET 確認)]

作物名	適用害虫名	使用量	使用時期	使用回数	使用方法	アセタミプリドを含む農薬の総使用回数
セルリー	アブラムシ類	0.5 g / 株	定植時	1 回	植穴土壌混和	2 回以内(但し、定植時の土壌混和は 1 回以内)

### 3 利用上の留意点

(1) モスピラン粒剤を用いる場合は、薬害発生の恐れがあるので使用量を厳守し、根に直接ふれぬよう、施用後土壌とよく混和してから植え付ける。

### 4 対象範囲

県下全域

### 5 具体的データ

(1) セルリーのアブラムシ類に対するダントツ粒剤定植時処理の防除効果を野菜花き試験場で試験した。対象害虫の発生状況は多発生であった。モモアカアブラムシに対して定植後1か月程度高い密度抑制効果が認められた。薬害は認められなかった(表1)。

表1 セルリーのモモアカアブラムシに対するダントツ粒剤の防除効果  
(平成19年、野菜花き試験場)

供試薬剤	処理量	13日後			20日後		
		有翅	無翅	合計	有翅	無翅	合計
ダントツ粒剤	2g/株	8	0	8 (0.4)	2	0	2 (0.3)
無処理	-	243	1,547	1,790 (100)	88	678	766 (100)

供試薬剤	処理量	30日後			薬害
		有翅	無翅	合計	
ダントツ粒剤	2g/株	1	0	1 (0.5)	なし
無処理	-	33	171	204 (100)	

値は3反復の合計値(60小葉)。( )内は密度指数。

試験場所：長野市松代町 野菜花き試験場内圃場 発生状況：多発生 品種：「コーネル619」

定植：5月22日 栽植距離：床幅80cm、株間50cm、2条植

区制・面積：1区7.5㎡、20株/区、3連制

処理方法：規定量の薬剤を定植時処理した。試験時に同様な処理剤の農薬登録がなかったため、対照区は設置しなかった。

調査方法：各区あらかじめ定めた20小葉について、処理13日後(6月4日)、20日後(6月11日)および30日後(6月21日)に生息するモモアカアブラムシ有翅、無翅別の個体数を調査した。

密度指数 = 処理区密度 / 無処理区密度 × 100

(2) セルリーのアブラムシ類に対するモスピラン粒剤定植時処理の防除効果を野菜花き試験場で試験した。対象害虫の発生状況は甚発生であった。モモアカアブラムシに対して、定植後1か月程度高い密度抑制効果が認められた。薬害は認められなかった(表2)。

表2 セルリーのモモアカアブラムシに対するモスピラン粒剤の防除効果  
(平成17年、野菜花き試験場)

供試薬剤	処理量	10日後			20日後		
		有翅	無翅	合計	有翅	無翅	合計
モスピラン粒剤	0.5g/株	2	2	4 (0.5)	9	0	9 (0.4)
無処理	-	8	762	770 (100)	113	2,150	2,263 (100)

供試薬剤	処理量	31日後			薬害
		有翅	無翅	合計	
モスピラン粒剤	0.5g/株	1	8	9 (0.2)	なし
無処理	-	206	4,762	4,968 (100)	

値は3反復の合計値(60小葉)。( )内は密度指数、算出方法は表1参照。

試験場所：長野市松代町 野菜花き試験場内圃場 発生状況：甚発生 品種：「コーネル619」

定植：5月27日 栽植距離：床幅100cm、株間30cm、2条植

区制・面積：1区7.5㎡、40株/区、3連制

処理方法：規定量の薬剤を定植時処理した。試験時に同様な処理剤の農薬登録がなかったため、対照区は設置しなかった。

調査方法：各区あらかじめ定めた20小葉について、処理10日後(6月6日)、20日後(6月16日)および31日後(6月27日)に生息するモモアカアブラムシ有翅、無翅別の個体数を調査した。

(3) ダントツ粒剤の株当たり2gとモスピラン粒剤の株当たり0.5gの定植時処理について、セルリーのアブラムシ類に対する防除効果を野菜花き試験場で試験した。対象害虫の発生状況は中発生であった。いずれの剤もモモアカアブラムシに対して、定植後1か月程度高い密度抑制効果が認められた。薬害は認められなかった(表3)。

表3 セルリーのモモアカアブラムシに対するダントツ粒剤、モスピラン粒剤の防除効果  
(平成18年、野菜花き試験場)

供試薬剤	処理量	10日後			20日後		
		有翅	無翅	合計	有翅	無翅	合計
ダントツ粒剤	2g/株	1	0	1 (0.9)	1	0	1 (0.5)
モスピラン粒剤	0.5g/株	0	0	0 (0)	1	1	2 (1.1)
無処理	-	5	106	111 (100)	8	175	183 (100)

( 続き )

供試薬剤	処理量	27 日後			薬害
		有翅	無翅	合計	
ダントツ粒剤	2 g / 株	4	8	12 (3.0)	なし
モスピラン粒剤	0.5 g / 株	1	10	11 (2.8)	なし
無処理	-	10	385	395 (100)	

値は3反復の合計値(30株)。( )内は密度指数、算出方法は表1参照。

試験場所：長野市松代町 野菜花き試験場内圃場 発生状況：中発生 品種：「コーネル619」

定植：6月9日 栽植距離：床幅80cm、株間50cm、2条植

区制・面積：1区6㎡、20株/区、3連制

処理方法：規定量の薬剤を定植時処理した。試験時に同様な処理剤の農薬登録がなかったため、対照区は設置しなかった。

調査方法：各区10株について、処理10日後(6月19日)、20日後(6月29日)および27日後(7月6日)に生息するモモアカアブラムシ有翅、無翅別の個体数を調査した。

(4) ダントツ粒剤の株当たり2gとモスピラン粒剤の株当たり0.5gの定植時処理について、セルリーのアブラムシ類に対する防除効果を野菜花き試験場で試験した。対象害虫の発生状況は多発生であった。いずれの剤もモモアカアブラムシに対して、定植後1か月程度高い密度抑制効果が認められた。薬害は認められなかった(表4)。

表4 セルリーのモモアカアブラムシに対するダントツ粒剤、モスピラン粒剤の防除効果  
(平成20年、野菜花き試験場)

供試薬剤	処理量	9 日後			14 日後			薬害
		有翅	無翅	合計	有翅	無翅	合計	
ダントツ粒剤	2g/株	2	0	2 (0.8)	2	0	2 (0.5)	
モスピラン粒剤	0.5g/株	3	0	3 (1.1)	2	0	2 (0.5)	
無処理	-	48	214	262 (100)	59	336	395 (100)	

  

供試薬剤	処理量	21 日後			30 日後			薬害
		有翅	無翅	合計	有翅	無翅	合計	
ダントツ粒剤	2g/株	4	1	5 (0.9)	5	6	11 (1.7)	なし
モスピラン粒剤	0.5g/株	1	2	3 (0.5)	3	8	11 (1.7)	なし
無処理	-	49	522	571 (100)	41	606	647 (100)	

値は3反復の合計値(60小葉)。( )内は密度指数、算出方法は表1参照。

試験場所：長野市松代町 野菜花き試験場内圃場 発生状況：多発生 品種：「コーネル619」

定植：6月19日 栽植距離：床幅80cm、株間50cm、2条植

区制・面積：1区7.5㎡、20株/区、3連制

処理方法：規定量の薬剤を定植時処理した。試験時に同様な処理剤の農薬登録がなかったため、対照区は設置しなかった。

調査方法：各区あらかじめ定めた20小葉について、処理9日後(6月28日)、14日後(7月3日)、21日後(7月10日)および30日後(7月19日)に生息するモモアカアブラムシ有翅、無翅別の個体数を調査した。

## 6 特記事項

[公開] 制限なし。

[課題名、研究期間、予算区分]

野菜・花きの病害虫防除農薬の効果試験、平成17～20年度(2005～2008年度)、民間受託